

# 孤独死・空家事情・子育て支援など 市役所に質問をしたのですが

市政に関して、当会代表名で5項目にわたる質問書を4月3日に出しました。別稿のように春日市役所を訪問した後ではあり、返事が遅いので催促したところ、「4月22日、総務部長 三笠哲生」名で回答を頂きました。  
紙面の関係上、ここではそのうち3項について紹介します。

**〔A〕** 学童保育の収容人数と待機児童の数。  
**〔C〕** 団地等における空家の数とその現状。

**〔B〕** 学童保育所の入所者数は、平成25年4月1日現在、556名で、待機児童数は0人です。  
**〔D〕** 雑草の繁茂や管理不備による侵入など、空家に関する苦情や相談がある場合は、内容に応じて関係課で個別に対応しております。

**〔A〕** 孤独死につきましては、明確な定義がないため、把握している数字はありません。  
**〔C〕** 学童保育の受け容れは、近隣各市では6年生までの例があります

真の「まちづくり」は普通の市民が考え・発言し・行動することから

市民グループ  
**住みよい太宰府を作ろう かい**  
略称 〈作ろうかい〉

## 作ろう！

106号 (13・6・10)

〈問い合わせ・連絡先〉

〒818-0101

太宰府市観世音寺4-17-22

観世 広

電話とFAX 092・922・6801

急ぎの場合は 090・9602・9508

Eメール Kanze.hiroshi@ezweb.ne.jp

今月は、15,000部発行

が、当市では3年生まで。

Cの回答に関しても「空家の定義がないので調べていません」とのことでした。

### 「当会の感想と意見」

まずは子育て支援に関し、当会にこう訴えられたことがある。「うちの娘が仕事に就こうと

思って面接へ行ったのですが、先にお子さんを預ける場所を確保してからおいでなさい、と言われたんですよ。それで預ける施設を訪れると、まず職場を見つけてから相談に来なさい、ですって。これって一体どういうことですか。主婦は働くな、と言っているに等しいですよね」

次に孤独死について。これの実態調査をするのに「定義」が必要だなど、思いもしなかった。

市内に既にその実例はいくつも出ているし、当会スタッフが大変な苦勞をして、その「後始末」の世話をした例は、小紙74号(10年10月)でも生々しく紹介した。その時の市役所の応待は「当局は生きた住民のみを相手にしています」とのことだった。

もし近隣の誰もが世話をかけて

出なくて、たとえば腐臭が漂うようになっても行政は「死人は相手にしない」のであろうか。

さらに、市内団地には空家が目立つようになってきた。これの対処法がむずかしいことは理解できる。しかし動物や不審者が出没する事態になることは、当然に予想される。衛生状態はもちろん、火災の心配さえある。

これらは厳然たる「事実」である。放置していれば、住環境がどんどん劣化していくことは、目に見えている。「まちづくり」を論じるなら、これらにキチンと対処するのは、むしろ「前提条件」と言うべきではないのか。

それを「定義がないから」とは何たる言い方。何もしません、したくありません、と言っているのと同じことではないか。

## 春日市役所へ取材に行きました

春日市で体育館の改築計画が進んでいます。改築とはいえ全面建て直します。過日、当会では春日市役所へ取材に行きました。質問の中心は「住民の合意形成をどうしたか」などです。

「何度も何度も住民との意見交換会を開きました。ずいぶん厳しい意見も頂戴し、その結果として場所の選定を見直すなどの、抜本的な訂正をして、ようやく合意に

いたりました」

初めに電話で取材の問合せをしたところ「あいにく担当者が出勤していませんので、連絡しておきます」とのこと。「では後日」と言っていて電話を切ったのですが、翌朝一番に先方から連絡があり、訪問日程の調整をしました。「当会は2人伺います」「ではこちらも2人は出せると思います」

当日、実際の応待は4名。

こちらの質問に対して実にテキパキ、明確。「その点はどうも……」とか「上司に伺ってから」などはいっさいなし。自信にあふれているだけでなく、まことに明るい応待で、対話しながら互いによく笑いもしました。

ついでながら、当会が他市町へ取材に行くのは、過去に何度もあります。当会代表などは、福岡都市圏のほとんどの市役所・役場を訪れています。そうした経験に照らしても、特に春日市、次には大野城市の応待が素晴らしい。

# 投稿

## 「広報だざいふ」の表紙は

### パフォーマンス用か!

坂井 武司

広報だざいふ5月号の表紙は、

4月入学のランドセルを背負った可愛くて希望に満ちあふれる新小学1年生の群像で飾られるものと期待していたが、手柄顔した市長・県議たちのパフォーマンスの演出写真であり、新小学生に関する記述は広報文中の何処にも見当たらず、がっかりしている。これから育ちゆく小学生を、市を挙げて応援しようという意図はどこかにあるのだろうか。気懸りである。

同じ5月号で、議会の承認・可決をえた平成25年度予算が公表され昨年度を上回る211億1,300万円が計上された。しかし、市の借金である市債残高は昨年度を上回る205億3,400万円となる見込みであり、一方貯金である基金残高は35億8,400万円と昨年度より1割も減少する見込みである。

この様に容易ならざる財政状況下であるにも拘らず、18億とも20億超とも言われる総合体育館の建設に踏み切った太宰府市執行部と議員・議会の意図は、何処にあるのだろうか。総合体育館建設に関わる説明会開催を議会に請願したが、3月議会で「不採択」となり「回答の要無し」との結論であった。市民の

要望無視の挙動は理解に苦しむ。

また、3月議会で可決された平成25年度太宰府市の実施計画(この計画書は辻褃の合わない瑕疵がある)の紹介と説明が述べられて

「市民と共に考え共に創るまちづくり」と言う第7目標の説明が省略され、記述がない。本場に「市民と共にまちづくり」を考えて居るならば、この「目標7」こそしっかりとした説明が必要であると信じているのだが。

## 2ヵ月、全6回で『徒然草』講座

6・7月は月3回の2ヵ月計6回にわたる文芸講座を計画しました。

### 『初めての徒然草』

ご存知、吉田兼好法師『徒然草』は、日本文学史上に燦として輝く随筆(エッセイ)文学の名編です。ただど案外に、講座などに登場する機会が少ない。

『万葉集』や『源氏物語』も名作でしょうが、私も多くの市民はその専門家になるわけではないのですから、もっと気軽に広い範囲の文学を楽しんでいいのではないのでしょうか。

・ 6月14・21・28と7月12・19・26。各金曜14時から。  
・ 観世音寺公民館で。

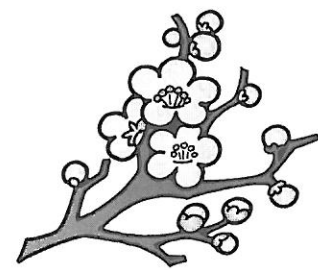
### 井本県議(自民党)

## 政調費問題・説明拒否に失望!

渡 邊 厚生

5月19日、同氏の説明を聞く会に参加したが、本人はおろか、代理人すら現れず、集まった40名近い市民をがっかりさせた。正正堂堂と出席して「あの報道

は誤解を招くもの」と説明すれば、一件落着と思ったが残念だ。このうえはリコール運動へと進むしかない。



### 自分史・印刷物全般

一般印刷・オンデマンド印刷・フォーム印刷・封筒印刷  
各種印刷物  
(ポスター・カタログ・マニュアル・チラシ・パッケージ・名刺等)

## 北九州カーボン印刷

福岡営業所  
〒812-0017  
福岡市博多区美野島3丁目18番17号  
TOWATAビル101号  
tel 092-473-2577  
fax 092-473-2587

本社・工場  
〒803-0835  
北九州市小倉北区井堀3-6-9  
tel 093-561-0707  
fax 093-582-5178  
e-mail kcp@jcom.home.ne.jp

(坂本区在住)

8月以降は今のところ未定。昨年実施した「葬儀社の人に話を聞く」や「遺言・相続に関すること」などを、毎年1回は開けないか、という声もありましたが、はて、どうしましょう。

## 街の話題

A、福岡市の副市長に太宰府在住の方が4月に就任されました。

ご活躍を祈念致します。

B、8月、お盆すぎくらいになるとかと思いますが、俳優・劇団員として著名な「日色ともえ」さんを招く計画が進行中です。

さらに、小々先の話になります。が、評論家としてメジャーな活躍をなさっている「柳田邦男」の講演会も、既にご本人の了解が得られているそうです。こちらは新春の年明けになりそうでしょうか。詳しいことが分かりましたら、またご紹介いたします。